



ふたば

令和元年9月18日
甲府市立千塚小学校
No. 13 文責:校長 中國

学校教育目標
心豊かで
たくましい子ども

全国学力・学習状況調査結果報告

全国学力・学習状況調査は、6年生を対象に平成31年4月18日（木）に実施しました。本調査は、児童の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や生活状況の実態などを明らかにすることにより、今後の指導内容や指導方法の改善や生活指導などに役立てることを目的としています。

調査内容は、大きく「①教科に関する問題(国語・算数)」と、「②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」に分かれています。昨年度までは、教科に関する問題は、国語・算数とも[A：主として「知識」に関する問題]と、[B：主として「活用・評価、改善」に関する問題]の2つに分かれていましたが、今年度は、AとBを一体的に出題しています。

また、子どもの生活習慣や学習環境に関する調査は、質問紙で行っています。

8月に文部科学省から本校の結果が送付され、本校でも運動会等学校行事への取り組みと並行して、結果の分析を行ってまいりました。このたび分析結果がまとまりましたので、その概要を皆様にお知らせするとともに、本校ホームページにも掲載していきます。

なお、調査に参加しました6年生には、個別懇談等を通して具体的な課題等について説明をしていく予定です。

1 全国平均との比較

国語・算数ともに全国平均を大きく上回りました。

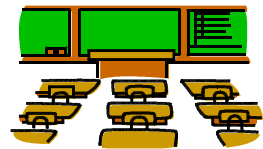
- ① 国語 全国平均を大きく上回ります。
- ② 算数 全国平均を大きく上回ります。
- ③ 質問紙調査



学習への関心が高く、学習習慣について、家庭で計画的に学習していると考えている児童が多いです。また、生活習慣が整っていると考える児童も多いです。

2 昨年度の千塚小結果との比較

国語・算数ともに、昨年度の結果を上回る良好な状況にあります。



3 成果と指導の改善

①国語

話す・聞く、書く、読む、関心ともに望ましい状況にあります。特に書くことについては、**全国平均と比較すると極めて高い正答率**でした。また、読むことについても高い正答率でした。

書くことについては、ノート指導やOPPA活用を柱に、読むことについては、日常からの読書活動を大切に継続して取り組んでいきます。

また、質問紙調査において「国語の勉強が好き」と答えた児童は、40%（全国平均26.5%）と非常に高い結果が得られています。今後も国語の魅力を感じられるような授業構築に努めていきます。

②算数

図形分野が、全国平均より少し高い正答率でしたが、その他**数と計算・量と測定、数量関係3つの領域すべてとても良好な結果**でした。今後も、基本となる学習を大切にして、さらに粘り強く習得できるように指導していきます。

4 日常生活について

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」では、当てはまると答えた児童は64%（全国平均38.9%）、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に当てはまると答えた児童は74%（全国平均58.7%）となり、睡眠についての質問項目で、全国平均より極めて高い結果となっています。また、「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか」では、当てはまると答えた児童は70%（全国平均50.1%）となっており、家庭内でのコミュニケーションが円滑に進んでいる様子がうかがえます。さらに、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」では、当てはまると答えた児童は54%（全国平均33.1%）と、自分で学習を進めている様子、さらにご家族の協力を得ながら、家庭学習に取り組んでいる様子が伝わってきます。

5 家庭学習について

家庭学習に対する資料を今年度も継続配布し、家庭との共通理解のもと推進しています。このこともよい結果につながったと思われます。家庭との情報交換をすすめ、児童が意欲をもって取り組める効果的な家庭学習の課題などを工夫していきたいと思えます。

6 千塚小学校では

①指導と評価の一体化

授業の中では発言やノートを評価し理解の進み方をチェックし、授業後もノートや学習教材で個別に評価を行っています。一人一人の児童の学習の進み方について担任は常に評価を行い、その評価に基づいた授業づくりを行っています。また、一枚ポートフォリオ評価（OPPA）を道徳、理科等で活用するなど、指導と評価の一体となった授業を目指し、日々実践しています。

②授業規律の徹底と基礎・基本の定着

学習の効果を高めるためには、学校生活にふさわしい態度が必要です。背筋をのばした姿勢、学習内容に合った文具で丁寧に文字を書くこと、学び合いに適した声や話し方など、学習規律を身につけることを指導しています。

③学び合う授業に基づく考え、活用する資質、能力の育成

日常の授業では、安心して意見が言え、誰の考えも尊重する温かい人間関係、行事などで協力して目標を達成する学級集団など、学級担任を中心に「学び合う学級」を形成しています。5月にはQU検査（よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート）を実施し、学級づくりに活用しています。望ましい学級の人間関係の中で、互いの考えを伝え、話し合う活動が個々の児童に内面化したものが「思考」と考えています。「思考力」は、授業の中での学び合いによって育てています。



④学び合う教師集団「校内研修と教材研究」

本校では、教師が学び合い互いに力量を高め合う校内研修を行っています。研究主題を定め、理論研究や授業研究を行っています。授業を見合うこと、意見を交換することなど、授業と同様に学び合う校内研修となっています。全体で行う授業研究だけでなく、全員が一人一実践の研究授業を年一回は行っています。また、QU検査や甲府スタイルの授業等、外部講師により教師一人一人の実践力も高めています。

⑤教育課程とカリキュラムマネジメント

授業の効果を高めるために、児童の実態や学習の習得状況を評価し、指導計画を常に見直すカリキュラムマネジメントを行っています。新学習指導要領の移行期でもあり、日課表や週時程などの見直しも行っています。

